1. 幼稚園の教育目標

「多様な直接体験による心身ともに健やかな子どもの育成」

- ・様々な人とのかかわりを深め、命を大切にし自己肯定感を高め、つながる楽しさを味わう。
- ・身近な自然等との豊かな体験を通して、好奇心、探求心を高め思考力の芽生えを培う。
- ・感じたことや考えたことなど自分なりに表現する力と豊かな感性を養う。
- 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した園評価の 具体的な目標や計画

『表現を楽しむ気持ちや表現しようとする意欲の育成』

- ・人とかかわることを喜び、自分も友だちも「いいな」と自己肯定感を高め、自分なりの 表しをする喜びを味わう。
- ・心が揺さぶられる体験の充実と表現する過程を楽しめる工夫。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
1「表現する力」への取組	Т3	様々な表現を大切にし、表すことのうれしさ、受け止められる 安心感を味わうことができた
2小学校との連携	TЗ	園児の交流、職員の交流とも計画通り実施し、相互理解を深めることができた
3地域との交流	T2	学園、公民館をはじめ地域の多様な方々との交流が充実し思いが通じ合う関係が育まれている
4健康な体つくり	Т3	継続した運動遊びに取り組み、進んで体を動かすことに取り組 む姿が定着した

4. 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
Т 3	いろいろな表しがあることを職員で共有し、子どもの発信に気づき一人一人に応じたかかわりが充実できた。地域とかかわりながら、様々な直接体験や交流により充実感を味わった。また、その多様な経験は知識や学びの基礎の芽生えにつながった。日々年齢に応じた運動遊びを継続的に実施することで、体を動かす楽しさを味わい、生き生きと生活し、目標達成に挑戦する姿が見られた。

◎「3.4.」の評価結果の表示方法

T 1	目標を大きく上回って達成	T2	目標を上回って達成
Т3	目標をほぼ達成(標準)	T 4	目標を下回った
T5	目標を大きく下回った		

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法		
表すことを楽しむ	年齢や発達にあった、自分の思いを安心して伝えられる、人間関係の土台つくりを		
衣りことを栄しむ	大事にする		
幼保小架け橋プログラム	日々連携が充実している関係性を活かして完成を目指す		
の作成	口や圧汚が元美している関係性を治がして元成を日指す		
運動遊びの継続	日常の遊びを大切にし子どもの発達に応じた持久力、柔軟性等向上の遊びや運動を意識した活動を無理なく楽しく継続する		